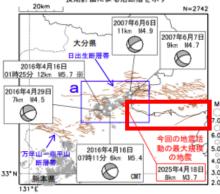
誤

# 4月18日 大分県中部の地震活動

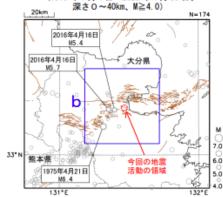
震失分布図 (2000年10月1日~2025年4月30日、 深さ0~20km、M≥2.0)

深さ O ~ 20km、M ≤ 2.0) 2025 年 4 月の地震を<mark>赤色</mark>〇 で表示 図中の茶色の線は地震調査研究推進本部の 長期評価による活断層を示す



※2016 年 4 月 16 日 01 時 25 分に発生した大分県中部 の地震 (M5.7) は、熊本県熊本地方の地震 (M7.3) の発生直後に発生したもので、Mの値は参考値。ま た、震度についても M7.3 の地震の発生直後に発生し たためどちらの地震によるか特定できない。

震央分布図 (1919年1月1日~2025年4月30日、 深さ○~40km M≥40)

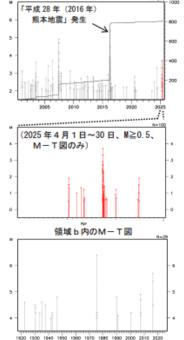


大分県中部では、2025年4月18日07時頃から18 日13時頃にかけて地震活動が一時的に活発となる など、18日から30日までに震度1以上を観測した 地震が13回(震度3:1回、震度2:4回、震度1: 8回)発生した。このうち最大規模の地震は18日08 時57分に発生したM3.7の地震(深さ8km、最大震度 3)である。これらの地震は地勢内で発生した。

2000年10月以降の活動をみると、今回の地震の 廣央付近(領域 a)では、2016年4月16日にM5.4の 地震(深さ6km、最大震度5弱)が発生している。 また、2007年6月6日から6月10日にかけて地震 活動が活発となるなど、6月中に震度1以上を觀 測した地震が64回(震度4:3回、震度3:6回、 震度2:16回、震度1:39回)発生した。このうち 最大規模の地震は6月6日に発生したM4.9の地震 (深さ11km、最大震度4)で、この地震により重傷 者1人などの被害が生じた(被害は終務省消防庁 による)。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震失 周辺 (領域 b) では、M5.0以上の地震が3回発生し ている。1975年4月21日に発生したM6.4の地震(最 大震度 4) では、負傷者22人、住家被害2,240棟な どの被害が生じた(被害は「日本被害地震総覧」に との、

領域a内のM-T図及び回数積算図

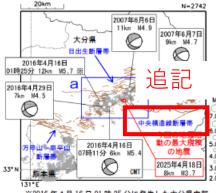


気象庁作成

## 4月18日 大分県中部の地震活動

震央分布図 (2000年10月1日~2025年4月30日、 深さ0~20km、M≧2.0) 2025年4月の地震を赤色○で表示

2025 年 4 月の地震を赤色〇で表示 図中の茶色の線は地震調査研究推進本部の 長期評価による活断層を示す



※2016 年 4 月 16 日 01 時 25 分に発生した大分県中部 の地震 (M5.7) は、熊本県熊本地方の地震 (M7.3) の 発生直後に発生したもので、Mの値は参考値。また、 震度についても M7.3 の地震の発生直後に発生したた めどちらの地震によるか特定できない。 日13時頃にかけて地震活動が一時的に活発となるなど、18日から30日までに震度1以上を観測した地震が13回(震度3:1回、震度2:4回、震度1:8回)発生した。このうち最大規模の地震は18日08時57分に発生したM3.7の地震(深さ8km、最大震度3)である。これらの地震は地設内で発生した。2000年10月以降の活動をみると、今回の地震の

大分県中部では、2025年4月18日07時頃から18

2000年10月以降の活動をみると、今回の地震の 震央付近(領域 a)では、2016年4月16日にM5.4の 地震(深さ6km、最大震度5弱)が発生している。 また、2007年6月6日から6月10日にかけて地震 活動が活発となるなど、6月中に震度1以上を観 測した地震が64回(震度4:3回、震度3:6回、震度2:16回、震度1:39回)発生した。このうち 最大規模の地震は6月6日に発生したM4.9の地震 (深さ11km、最大震度4)で、この地震により重傷 者1人などの被害が生じた(被害は総務省消防庁 による)。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震失 周辺(領域 b)では、M5.0以上の地震が3回発生し ている。1975年4月21日に発生したM6.4の地震(最 大震度4)では、負傷者22人、住家被害2,240棟な どの被害が生じた(被害は「日本被害地震総覧」に よる)

### 領域a内のMーT図及び回数積算図



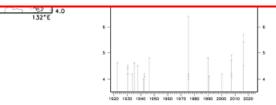
震央分布図 (1919年1月1日~2025年4月30日、 深さ○~40km、M≥4.0)

報道発表資料「令和7年4月の地震活動及び火山活動について」の20ページ

# 修正内容

震央分布図中に「中央構造線断層帯」を追記

- 20 -



気象庁作成

- 20 -

世界の主な地震

□7年(2025年)4月に世界で発生したマグニチュード(M)6.0以上または被害を伴った地 【央分布を図1に示す。また、その震源要素等を表1に示す。

報道発表資料「令和7年4月の地震活動及び火山活動に ついて | の27ページ

# 修正内容

表1中9番、10番の地震のMwについてそれぞれ 9番の地震 修正前 6.2 → 修正後 6.2 G 10番の地震 修正前 6.2 → 修正後 6.2。

号	地震発生時刻	構度	経度	深さ (km)	8	Nj	Nw	震央地名	備考 (被害状況など)	北西	遮地
1	04月02日09時29分	\$57" 0.4"	W142* 17.1'	10			6.3	太平洋一席標准機			
2	04月02日23時03分	N31" 2.8"	E131° 31.4'	36		6.1	(6.0)	大陽半島東方沖			
3	04月03日23時09分			10			6.9	レイキャネス海債			
4	04月05日05胂04分	S 6" 17.5"	E151" 40.6"	10			6.9	パプアニューギニア、ニューブリテン		0	0
5	04月12日12時47分	\$ 4" 41.4"	E153* 9.2"	62			6.1	パブアニューギニア、ニューアイルランド			
6	04月14日05時03分	\$25" 58.8"	W178" 19.8"	271			6.5	フィジー雑鳥南方			
7	04月16日10時42分			10			6.6	南東インド洋海嶺			
8	04月22日19時17分	N 4" 30.5"	E127" 45.5"	118			6.2	インドネシア、タラウド諸島			
9	04月23日18時49分	N40" 50,3"	E 28° 8.5′	10			6, 2 <sub>e</sub>	トルコ	津波観測0,08m(エルデク) など 負傷者238人など		
10	04月25日20時44分	N 1" 6,2"	₩ 79° 32.0°	35			6, 3 <sub>0</sub>	エクアドル沿岸	津波観測0.42m(エスメラ ルダス) 貴傷者49人など		
11	04月29日22時16分	\$48" 10.9"	E165° 20.5'	10			6.2	ニュージーランド、南島西方沖			
12	04月29日23時53分	\$54° 19.6'	E155° 40, 6°	- 5		7	6.8	マクオーリー島			

・農原要素は米国地質関連所(USGS)ホームページの" Search Earthquake Catalog" (https://earthquake.usgs.gov/earthquake/search/) 以よる (2025年5月 14現在)。ただし、日本付近で発生した地震の震源要素、以の機に影響したマグニチュード、Mrの機に搭断型とせて記載したモーノ・トマグニチュードは気象庁による。Mrの機に下付 きで「G」を付して記載したモーメントマグニチュー は、Global CMT による。

・被害状況は、出典のないものは OCHA (UN Office for the Coordination of Humania rian Affairs: 国連人道問題關整事務所、2025 年5月1日現在)による。

・地震発生時刻は日本時間「日本時間=協定世界時・

 「北西」欄の〇印は、気象庁が北西太平洋域に提供し ※気象庁ホームページの「国際的な津波監視体制」 「遠地」欄の〇印は、気象庁が「遠地地震に関する作

海外の津波の観測値は、米国海洋大気庁(NOAA; Nat

(※) を発表したことを表す。 /data/joho/nwpta.html) 参照。

Administration)による (2025年5月1日現

6.  $3_{G}$ 

- 27 -

令和7年(2025年) 4月に世界で発生したマグニチュード (M) 6.0 以上または被害を伴った地 『の震央分布を図1に示す。また、その震源要素等を表1に示す。

The State of the S	320020	
\$ 500 E	5 T. S.	3
The state of the s	2 8 5	
30-	√4 ,∆6	depth (km) 0 30
• 07	11 0	1 depth (km) 30

図1 令和7年(2025年)4月に世界で発生したM6.0以上または被害を伴った地震の震央分布

#### 表 1 令和 7 年(2025 年) 4 月に世界で発生した M6. 0 以上または被害を伴った地震の震源要素等

善	地震完全時期	维度	経度	源さ (km)	mb	NJ	Ne	震失地名	備考 (被害状況など)		建地
1	04月02日09時29分		N142° 17.1'	10				太平洋一南極海徹			
2	04月02日23時03分	N31" 2.8"	E131" 31.4"	36		6.1	(6.0)	大調半島東方庫			
3	04月03日23時09分	N62" 27. 2"	W 32" 6.4"	10			6. 9	レイキャネス海査			
4	04月05日05時04分	5 6" 17.6"	E161" 40.6"	10			6. 9	パブアニューギニア、ニューブリテン		0	0
-6	04月12日12時47分	5 4" 41.4"	E163" 9.2"	62			6.1	パブアニューギニア、ニューアイルランド			
6	04月14日05時03分	525" 58.8"	N178° 19.8'	271			6. 6	フィジー諸島南方			
7	04月16日10時42分	547" 50.5"	E 99" 45.4"	10			6. 6	南京インド洋海査			
8	04月22日19時17分	N 4" 30.5"	E127° 45.6'	118			6.7	インドネシア、タラウド諸島			
9	04月23日18時49分	N40* 50.3'	E 28° 8.6′	10			6. 2	トルコ	摩波観期0.06m(エルデク) など 負傷者236人など		
10	04月26日20時44分	N 1 6.2	W 79° 32.0′	36			6. 3	エクアドル沿摩	摩波観測0.42m(エスメラル ダス) 負傷者49人など		
11	04月29日22時16分	548" 10.9"	E166" 20.6"	10			6. 2	にュージーランド、南島西方沖			
12	04月29日23時63分	564" 19.6"	E166" 40.6"	- 5		<b> </b>	6.8	マオーリー島			

- ・無源要素は米極地質調査所(USGS)ホームページの" Search Earthquake Catal o" (Intus://earthquake.usss.sov/earthquake/search/) ジンろ(2025年3月 N-現在)。ただし、日本付近で発生した地震の震源要素、Ho 関連記載したマングニチュード、Wr の間に記載したマンメージュード、メック (国際主義・日本の) きで「G」を付して記載したモーメントマグニチュー「注、Global OMT による。 ・被害状況は、出典のないものはOGHA(MM Office for the Coordination of Humanitarian Affairs:固連人道問題調整事務所、2025
- 年 5 月 1 日現在)による。 ・地震発生時刻は日本時間 [日本時間 = 協定世界時・
- ・「北西」欄の〇印は、気象庁が北西太平洋戦に提供し ※気象庁ホームページの「西際的な津波整視体制」 ・「逮地」欄の〇印は、気象庁が「速地地震に関する情
- ·海外の津波の観測値は、米国海洋大気庁(NOAA: Mat

(※) を発表したことを表す。 //data/joho/nupta.html) 参照。

Administration)による (2025年5月1日程

6.3

6. 2

気象庁作成

気象庁作成

### 4月23日 トルコの地震

2025 年 4 月 23 日 18 時 49 分 (日本時間、以下同じ) にトルコの源さ 10km で Mw6.2 (Mw は Global MT によるモーメントマグニチュード)の地震が発生した。この地震の発震機構(Global CMTによ は北西-南東方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型である。今回の地震により、エルデク(トルコ) \*0.06m の塗波を観測した。

この地震により、負傷者 236 人などの被害が生じた(2025 年 5 月 1 日現在)。

今回の地震の震央周辺(領域 a )では、1999 年 8 月 17 日に M=7.6 の地震が発生し、死者 17.118 人などの被害が生じた。また、1999 年 11 月 13 日に Mw7.1 の地震が発生し、死者 894 人などの被害 が生じた。

1904 年以降の地震活動を見ると、今回の地震の震央付近(領域 b )は、これまでも M7.0 以上の地 震が時々発生するなど、地震活動が活発なところとして知られている。

震央分布図 (1980年1月1日~2025年4月30日、 深さ0~30km、M≥4.5) 2025年4月の地震を赤色で表示 の電火位置 2025年4月23日 10km Mn6, 2 17km Mw7. 6 1-997 10km Wv7, 1 里族 ブレート トルコ 绝中海 1 アラビア学者 10801759 10km My7, 8 アラピア 領域 a 内のM-T図 ブレート境界の位置 プレートの進行方向 エルデク 震央分布図 (1904年1月1日~2025年4月30日。 深さ0~30km M≥6 0)

※震源要素は、2020年まではISC-GEM Global Instrumental Earthquake Catalogue Version 11 (1994-2020)、2021年以降は米国地質調 香所(USGS)による(2025年5月1日現在)。ただし、吹き出しを付けた地震の発震機構及び My は、2023年2月6日10時17分の地震及 び同日 19 時 24 分の地震は気象庁、その他の地震は Global CMT による。津波の高さは米国海洋大気庁(NOAA) による(2025 年 5 月 1 日現在)。今回の地震の被害は、OCHA(UN Office for the Coordination of Humanitarian Affairs:国連人道問題調整事務所、2025年 5月1日現在)による。その他の地震の被害は、宇津及び国際地震工学センターの「世界の被害地震の表」による。プレート境界の位 置はBird(2003)\*より引用。

\*参考文献 Bird. P. (2003) An updated digital model of plate boundaries. Geochemistry Geophysics Geosystems. 4(3). 1027. doi:10.1029/2001GC000252.



※震源要素は、2020 年までは ISC-GEM Global Instrumental Earthquake Catalogue Version 11(1994-2020)、2021 年以経は米国地質影 査所(USGS)による(2025年5月1日現在)。ただし、吹き出しを付けた地震の発展機構及びMw は、2023年2月6日10時17分の地震及 び同日 19 時 24 分の地震は気象庁、その他の地震は Global CMT による。建液の高さは米国海洋大気庁(NOAA)による(2025 年 5 月 1 日現在)。今回の地震の被害は、OCHA(UN Office for the Coordination of Humanitarian Affairs:国連人道問題調整事務所、2025年 5月1日現在)による。その他の地震の被害は、宇津及び国際地震工学センターの「世界の被害地震の表」による。プレート境界の位 ■はBird(2003)\*より引用。

\*参考文献 Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, Geochemistry Geophysics Geosystems, 4(3), 1027, doi:10.1029/200160000252.

### 4月23日 トルコの地震

5 年 4 月 23 日 18 時 49 分(日本時間、以下同じ)にトルコの深さ 10km で Mw6.2(Mw は Global よるモーメントマグニチュード)の地震が発生した。この地震の発震機構(Global CMTによ 北北西-南東方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型である。今回の地震により、エルデク(トルコ) で 0.06m の津波を観測した。

報道発表資料「令和7年4月の地震活動及び 火山活動について」の28ページ

# 修正内容

ページ下部注釈内に誤りがありましたので訂 正しました。

 $\overline{\mathsf{T}}$ 



※上図内の震源要素は、米国地質調査所(USGS)による(2025 年 5 月 1 日現在)。ただし、吹き出しを付けた地震の発震機構及び Mw は、 2023 年 2 月 6 日 10 時 17 分の地震及び同日 19 時 24 分の地震は気象庁、その他の地震は Global CMT による。下図内の震源要素は、 2020 年までは ISC-GEM Global Instrumental Earthquake Catalogue Version 11 (1904-2020)、2021 年以降は米国地質調査所(USGS) による(2025 年 5 月 1 日現在)。津波の高さは米国海洋大気庁(NOAA)による(2025 年 5 月 1 日現在)。今回の地震の被害は、OCHA (UN Office for the Coordination of Humanitarian Affairs:国連人道問題調整事務所、2025年5月1日現在)による。その他の地震の被 害は、宇津及び国際地震工学センターの「世界の被害地震の表」による。プレート境界の位置はBird(2003)\*より引用。

\*参考文献 Bird. P. (2003) An updated digital model of plate boundaries. Geochemistry Geophysics Geosystems. 4(3). 1027. doi:10.1029/2001GC000252.



※上図内の重源要素は、米国地質調査所(USGS)による(2025年5月1日現在)。ただし、吹き出しを付けた地震の発業機構及び Nav は、 2023 年2月6日10時17分の地震及び同日19時24分の地震は気象庁、その他の地震はGlobal CMTによる。下図内の電源要素は、 2020 年末では ISC-GEM Global Instrumental Earthquake Catalogue Version 11 (1904-2020)、2021 年以降は米国地質調査所 (USGS) による(2025年5月1日現在)。津波の高さは米国海洋大気庁 (NOAA) による(2025年5月1日現在)。今回の地震の被害は、OCHA(UN Office for the Coordination of Humanitarian Affairs:国連人道問題顯整事務所、2025年5月1日現在)による。その他の地震の被 害は、宇津及び国際地震工学センターの「世界の被害地震の表」による。プレート境界の位置はBird(2003)\*より引用。

\*參考文献 Bird. P. (2003) An updated digital model of plate boundaries. Geochemistry Geophysics Geosystems. 4(3), 1027. doi:10.1029/2001GC000252.

- 28 -

気象庁作成